

(様式1)

平成 26 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 118	提案機関名 横浜市漁業協同組合
要望問題名 資源回復計画のフォローアップ調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 横浜市漁協では平成19年度から資源回復計画に参加し、シャコ・マコガレイ資源等の回復に努めてきた。しかし、シャコ及びマコガレイ資源は未だ回復の兆候がみられない。今後のより実効を伴った資源管理型漁業の方策に資するため、対象資源に対する資源管理効果を検証していただくとともに、シャコ及びマコガレイ資源の減少要因の解明や今後の資源の動向について検討してもらいたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 複合的資源管理型漁業推進対策事業、重要水産資源回復効果調査事業、東京湾漁場環境総合調査			
対応の内容等 資源管理効果の検証を進めているところですが、今までの取り組み結果を踏まえるとシャコやマコガレイの資源を短期間で回復することは困難と考えられます。そこで、減少要因の解明に向けて、これまでの調査データの解析を進めるとともに、環境や生物のモニタリング調査を継続し、資源動向の解明につながる研究を進めていきます。 また、資源管理型漁業の推進については、多様な資源を活用しつつ、シャコ等の長期的な資源回復の取り組みできるよう、今後の計画に対する技術的支援や提案を行っていきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			